

## 副詞“在”による事象の統合化機能 The function of integrating events of the adverb “zai”

三宅 登之

東京外国語大学大学院総合国際学研究院

MIYAKE Takayuki

Institute of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

はじめに

1. 先行研究
  - 1.1. “在”と“着”
  - 1.2. “在”と“正”、“正在”
  - 1.3. 発話時以外の進行
2. 実例分析
  - 2.1. コーパスの概要
  - 2.2. “一直在”
  - 2.3. “总在”
  - 2.4. “还在”
3. 複合事象としての進行
  - 3.1. 進行相のプロファイル
  - 3.2. 動作の均質性
  - 3.3. 統合的スキーマと離散的スキーマ
  - 3.4. “在”の統合化機能

おわりに

キーワード：“在”，進行相，プロファイル，統合的スキーマ，離散的スキーマ

Keywords: “zai”, progressive aspect, profile, integrative schema, discrete schema



本稿の著作権は著者が所持し、クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

### 要旨

中国語の進行相は、副詞“在”を用いて表される。しかし、主に「“在”＋動詞」が長い時間を表す修飾語と共起している使用例をコーパスから収集し分析すると、実際に動作が切れ目なくずっと進行中である場合もあれば、実際にはその時間内で動作が行われていなかったり、他の動作が行われていたりする時間が混在している場合もあることがわかる。本稿は、いわばとぎれとぎれのプロセスも“在”が1つの進行している事象として捉える現象に着目し、そのメカニズムを考察した。“在”のこの機能を説明するに当たっては、離散的スキーマと統合的スキーマという認知図式を活用した。考察の結果、本来は空間上の把握に用いられる両スキーマが、時間上の概念把握へと拡張され、実際には離散的なとぎれとぎれの動作を統合的スキーマで捉えるというイメージスキーマ変換が起きているとの結論に至り、“在”にはこのような事象を統合化する機能があると主張した。

### Abstract

The adverb “zai” is used to describe a progressive aspect in Chinese. However, if we analyze the cases where “zai” is co-occurring with a modifier that represents a long time, we can see that in some cases, the action is actually in progress all the time, while in other cases, there is a mixture of times when no action is actually taking place or other actions are taking place within that time. In this paper, we focus on the phenomenon that “zai” integrates interrupted processes into a single ongoing event, and examine the mechanism of this integration. In order to explain this function of “zai”, we used two image schemas: the discrete schema and the integrative schema. These schemas are originally used for spatial concepts, but in the case of the progressive aspect, they are extended to temporal concepts, and a transformation of the image schema occurs, in which the fragmented process is grasped by the integrative schema. From these results, we conclude that “zai” has the function of integrating events.

はじめに

現代中国語の副詞“在”は、動詞の前に生起し、動作の進行を表す<sup>1)</sup>。李晓琪等編 1997:937 は、以下の例を挙げる。

- (1) 风在不停地刮，雨在不停地下。(風が絶えず吹いており、雨が絶えず降っている。)<sup>2)</sup>
- (2) 他在开会，你等一会儿再来吧。(彼は会議中ですから、あなたはしばらくしてからまた来てください。)
- (3) 最近我在写一篇关于妇女问题的报道。(最近私は婦人問題に関する報道を書いている。)

“在”は一般には、基準時(多くは発話時)において動作が文字通り進行していることを表す。特に(2)の例などは、今まさに会議をしているという意味が顕著である。ところが(3)では、「書いている」と言っているが、文字通り例えばパソコンで原稿を書きながら同時にこの発話をしたとは常識的には考えられない。“最近”(最近)は比較的長いスパンで動作が進行している期間を捉えていて、この文を発話している瞬間には、「書く」という動作を必ずしもしていないのである。

このように、発話時には必ずしも行っていない動作でも、なぜ“在”を用いて進行中の動作であるかのごとく表現することができるのであろうか。

## 1. 先行研究

本章ではまず先行研究の指摘をまとめながら、本稿での研究の対象を確定する。次に本稿で考察しようとする問題に関する従来の知見を概観する。

### 1.1. “在”と“着”

“在”を用いた文も“着”を用いた文も、日本語の「テイル形」に該当することが多いこともあり、“在”はしばしばアスペクト助詞“着”と対比して論じられる。

本稿は、副詞“在”が動作の進行を表すのに対して、アスペクト助詞“着”は状態の持続を表すのがそれぞれの文法的意味であり、両者の文法的意味は異なっているという立場をとる。状態の持続を表す“着”は、その文法的機能故に「動詞+“着”」を談話の中で背景化(backgrounding)させるという機能を持つ<sup>3)</sup>。一方では対照的に、副詞“在”が動詞を修飾すると、談話の中でその動作が際立ちを与えられ前景化(foregrounding)する<sup>4)</sup>。したがって、陈月

1) ただし龚千炎 1995:96 が以下のような例を挙げて指摘するように、“在”は進行している動作を表す際に義務的に使用されるマーカーではなく、一定の条件の元では省略される場合もある。

你找什么?(你在找什么?)(あなたは何を探しているのですか?)  
你说什么?(你在说什么?)(あなたは何て言っているのですか?)

2) 以下、本稿における用例の日本語訳は筆者によるものである。

3) “着”の背景化の機能については、三宅 2007 の詳細な議論を参照。

4) 梁德惠 2012:58 を参照。

明 2000:540-541 や刘月华等 2019:395 が指摘するように、「動詞 + “着”」は、動作自体を尋ねる疑問文とそれに対する回答、また自分が何を行っているかを相手に伝える文においては用いることができず、このような場合には「“在” + 動詞」を用いる。

- (4) a. “冬花，你在干什么？” 爷爷问。  
    (「冬花、何をしているんだい？」とおじいさんは尋ねた。)  
    b. \* “冬花，你干着什么？” 爷爷问。
- (5) a. “小明做什么呢？” “小明在打篮球。”  
    (「小明は何をしていますか。」「小明はバスケットボールをしています。」)  
    b. \* “小明做什么呢？” “小明打着篮球。”
- (6) a. “快告诉他，我们在找人。”  
    (「早く彼に伝えてください、私たちは人探しをしているのだと。」)  
    b. \* “快告诉他，我们找着人。”

本稿は、進行相を表す“在”を考察する。多くの先行研究が指摘するように、1つの文の中で“在”と“着”が共起することもあるが、本稿は議論の焦点を“在”に特化するため、以下のような“在”と“着”が文中で共起した例は考察の対象外とする。

- (7) 他们在大声唱着歌。(彼らは大きな声で歌を歌っている。)(石毓智 2006:16)

## 1.2. “在”と“正”、“正在”

動作の進行を表す“在”は時間副詞であるが、類似した文法的意味を表す時間副詞に、“正”と“正在”がある。これら3つはいずれも動作の進行を表すとされ、日本語では「テイル形」に訳されることが多いので、教学レベルでは動作の進行を表すバリエーションとして一括して教えられることも少なくない。

ただこれらの文法的意味に相違点があるのは、多くの先行研究が指摘するところである。“在”は動作の進行のプロセスを表すのに対して、“正”は動作がちょうどある時間内に進行しているという動作進行の時間を表している。“正在”は“正”と“在”を併せた意味を持つ。従って、“正”を用いる場合には、しばしば動作が進行する時間や、同じ時間に起こった出来事を表す成分が文中で共起している必要がある。以下の例の“正”は“在”に置き換えることはできないという。(吕文华 2014:294)

- (8) 到她家门口时，她正从家里出来。  
    (彼女の家の玄関に来た時、彼女がちょうど家から出てきた。)
- (9) 我正进屋，电话铃响了。(私がちょうど部屋に入ろうとした時に電話のベルが鳴った。)

三者の相違点も興味深い問題ではあるが、本稿ではこの問題には立ち入らない。上記のように、類似した文法的意味を持つ三者であるが、本稿は考察対象として“在”に焦点を絞る。“正”と“正在”が用いられた形は考察の対象外とする。

## 1. 3. 発話時以外の進行

さて、本稿で考察対象とするのは、基準時（主に発話時）には実際には動作が進行していない可能性もあるのに“在”が用いられる現象である。Teng1979:2 は、「“在” + 動詞」の表す動作は、「発話時」の動作である場合と、「発話時を含んだ時間の間じゅう」にわたる動作である場合があるとして、(10) の例を挙げる。

(10) Wo ganghao zai nian Dewen.<sup>5)</sup> (I am studying German.)

(私はちょうどドイツ語を勉強している。)

(10) は、今 (right now) を示すこともあれば、今年 (this year) を示すこともある多義性のある文であるとする。問題となるのは後者の場合で、「ドイツ語を勉強しています」と発話したその時点では、別にドイツ語の本を開いて勉強していなくても、他のことをしていてもいいわけである。

石毓智 2006:17 は、“在”が動作の開始時点から発話時までの間を表し、比較的長い時間の範囲を描写できると述べ、(11) の例を挙げている。この例においても、発話したその時点では、皆は発言中でなくてもいいのである。

(11) 又不是我一个人，大家都在说。(私一人でもあるまいし、皆言っていますよ。)

これらの例からわかることは、“在”が表す動作の進行は、発話時だけとは限らず、発話時を含んだ長い時間帯であってもよい場合もあるということである。よって、“在”は、動作が長時間行われていることを表す副詞“一直”“总”“还”や、長時間を表す語句と共に起できるという指摘が見られる。(卢福波编著 2000:665)

(12) 我一直在研究这个课题。(私はずっとこのテーマを研究している。)

(13) 他总在思考那个问题。(彼はいつもあの問題を考えている。)

(14) 到现在，他还在忙着收拾行李。(今になってもまだ彼は忙しく荷物を片付けている。)

(15) 整整一个晚上，她都在哭。(まるまる一晩ずっと、彼女は泣いていた。)

(16) 整整三十个年头，她一直在等你。(ちょうど 30 年間、彼女はずっとあなたを待っていた。)

これらの例を見ると、文脈にもよるが、これらの語句によって表されている長い時間の間に、現実に動作が切れ目なくずっと継続している場合もあれば、動作は実際にはその時間内で繰り返し起きており、逆に言えば動作が起きていない時間帯も混在している場合もあることがわかる。例えば (15) では、実際に彼女がまるまる一晩中、泣き止まずずっと泣き続けた可能性も確かにある<sup>6)</sup>。一方で (12) では、ある研究テーマについてずっと調査をしたり論文を執筆したりしているのであろうが、実際には生活上は食事・入浴・睡眠などの時間は必要で、研究はこ

5) 漢字表記にすると“我刚好在念德文”となる。

6) しかしまた、一晩のうちには、時々泣き止んではまた泣くという繰り返しだったとしてもこの文は真である。

これらの合間に繰り返し行われてきたと考えるのが常識的な理解であろう。

現実的には、ある動作を継続する際に、継続時間が長くなればなるほど、その動作がその間にずっと文字通り継続しているとは限らず、動作が行われな時間帯が混在してくる可能性は高まると言える。そこで以下では、卢福波编著 2000 の指摘する“一直”“总”“还”という動作が長時間行われていることを表す副詞が“在”の前に生起しており、かつその間に動作がずっと進行し続けているわけではないと考えられる例を、コーパスから収集し分析を行う。

## 2. 実例分析

### 2.1. コーパスの概要

実例を収集するにあたり利用したコーパスは、北京語言大学の BCC コーパス（北京语言大学 BCC 语料库）である。北京語言大学の BCC コーパス (<http://bcc.blcu.edu.cn/>) は、北京語言大学コーパスセンター（北京语言大学语料库中心 / BLCU Corpus Center, 略称 BCC）による、総字数約 150 億字の大規模コーパスである。新聞・雑誌（20 億字）・文学（30 億字）・微博<sup>7)</sup>（30 億字）・科学技術（30 億字）・総合分野（10 億字）・古漢語（20 億字）などの多くのジャンルから構成されている。

本稿の調査では、分野としては文学の範囲から、“在”の前に“一直”などの語句が生起している実例を抽出した。

### 2.2. “一直在”

「“一直在” + 動詞」（ずっと～している）で、実際には動作はずっと文字通り継続しているわけではないと理解される例には、以下のようなものがある。

(17) 在餐桌旁，他与莉莲相对而坐，两人吃着他在过去九个月中一直在吃的东西：

（食卓の脇で、彼は莉蓮と向かいで座り、二人は彼がこの 9 ヶ月間ずっと食べていた物を食べていた。）

(18) 四十年来他一直在研究这个丹麦王子，一切正派的演员都渴望扮演他，

（四十年来彼はずっとこのデンマーク王子の研究をしていて、りっぱな俳優は皆彼の役を演じたいと熱望している。）

(19) 多年以来，哲学家们一直在争论这个问题。

（長年に渡って、哲学者たちはずっとこの問題を議論してきた。）

(20) 多年来我们一直在做这些，这是我们的工作。

（長年私たちはずっとこれらをしてきました。これが私たちの仕事です。）

(21) 大概下个月内就必须正式决定怎么办了，我想。这段时间两人一直在谈论这个，你的心情我大体理解了，所以往下让我来考虑，暂时就别再提这个了。

（たぶん来月中にはどうするか正式に決めなければならなくなると私は思った。ここ

7) ウェイボー。中国の新浪会社が提供しているミニブログ。

しばらくの間、二人はずっとこの事を語り合っていて、あなたの気持ちはだいたい理解したので、あとは私に考えさせてほしい、しばらくはこの件はもういいです。)

(22) 他一直在写一本关于监狱的书，如果是那样，他的读者也必须是他认识的监狱里的犯人。  
(彼はずっと監獄に関する本を書いている。もしそのようであれば、彼の読者も彼が知っている監獄の中の犯人でなければならない。)

(23) “大家都在谈论鼠疫，是否真有此事，医生？” “人们一直在讲，这并不奇怪。”  
(「みんなペストのことを話していますが、本当にそんなことがあるのですか、先生。」  
「人々がずっとこの事を話しているのは別に不思議なことではありません。」)

(24) 最近我们拍的多是婴儿照。你不知道他有多喜欢给小宝宝拍照。他一直在教我如何运用镜头，而我也确实慢慢开始得心应手了！  
(最近私たちが撮影するのは多くは赤ちゃんの写真だった。彼が赤ちゃんのために写真を撮ってあげるのがどんなに好きか、あなたは知らない。彼はずっと私にレンズをどう使うかを教えてくれて、私も確かに少しずつ思い通りの結果を出せるようになってきた。)

(25) 她很容易就联想到，1912 年这个数字或许是谭功达的出生之年，因为他一直在说他是辛亥革命后的那一年出生的。  
(1912 年という数字はもしかしたら譚功達の生まれた年ではないかと彼女は容易に思い至った。なぜなら彼はずっと自分が辛亥革命の後の年に生まれたのだと言っていたからだ。)

(17) から (21) は、“在过去九个月中” “四十年来” “多年以来” など、長い時間を表す語句も用いられている例である。例えば (17) では、「9 ヶ月間ずっと食べていた」と言っても実際には食べ物を食べる時間は限定されていて、生活の中では当然食べていない時間もあるわけである。(18) においても、「40 年間」あるテーマを研究している人も、生活をしている以上は研究を離れている時間も当然ある。(22) 以降はそのような長い時間を表す語句はない例であるが、例えば (22) では、ずっと執筆をしていると言っても、生活の中では執筆から離れ他の用事を行う時間帯もあるはずである。これらのように、動作が長時間の間で実際にはとぎれとぎれになっても、副詞“在”を用いることによって、その動作がその時間あたかもずっと進行しているかのような表現になっているのである。

### 2.3. “总在”

副詞“总”(いつも)の生起した「“总在”+動詞」には以下のような例がある。

(26) 无须说明，我睡觉和李卫公睡觉是不同的，他是在证明了一切以后睡觉，我是在证明一切以前睡觉。但我不是利用一切机会睡觉，他却总在睡。年轻人和老人的区别就在这里吧。  
(説明するまでもなく、私の睡眠と李衛公の睡眠は異なっています。彼は一切を証明してから寝ますが、私は一切を証明する前に寝ます。しかし私は一切の機会を利用して

寝るわけではありませんが、彼はいつも寝ています。若者と老人の違いはここにある  
のでしょう。)

(27) 我们俩住在一间平房里时，我哥哥总在读书，

(私たち二人が一間の平屋に住んでいた時、私の兄はいつも本を読んでいた)

(28) 最近我总在开会，坐得长了痔疮。假如有外宾，还得穿西服打领带。

(最近私はいつも会議をしており、座る時間が長くなると痔を患ってしまう。もし外国  
からの客があるとさらにスーツを着てネクタイをしなければならない。)

(29) 他们笔下的人物从来就不笑，总在哭。这也是一种写法。(彼らによって書かれた人物は  
これまで全く笑うことなく、いつも泣いているのである。これも一種の書き方である。)

例えば(26)では「いつも寝ている」と言っても実際には起きている時間帯も必ずある。(27)  
でも、いくら本の虫でも読書以外の食事や睡眠などの時間も必要である。その他の例も同様で  
ある。

#### 2.4. “还在”

副詞“还”(まだ)の生起した「“还在”+動詞」には以下のような例がある。

(30) “还在写诗吗？”“有时候……我很希望得到一点指点。”

(「まだ詩を書いているのですか。」「時には……手ほどきをいくらかいたきたいと願っ  
ています。」)

(31) “还在读普鲁斯特么？”“没什么进展。”

(「まだブルーストを読んでいるのですか。」「全くはかどりませんけどね。」)

(32) 是的，我自己在那里教过书，而且还在教，但是现在我们有了一个第一流的女教师。

(そうです、私自身そこで教えたことがあり、しかも今でもまだ教えています。しかし  
今は私たちの学校には一流の女性教師がいるのです。)

(33) 现在这段日子萨布尔可遭罪了，摊上了大不幸，老婆死了，丢下两个没妈的孩子，其中  
一个还在吃奶。

(今この日々、サーブルは苦しい目にあい、大きな不幸が身に降り掛かった。妻が亡く  
なり、母のいない子供二人が残されてしまい、そのうち一人はまだ乳飲み子なのだ。)

これらの例においても同様である。例えば(30)では、「今でもまだ詩を書いているのか」と  
いう問いに対して、“有时候”(時には)という回答している。「時には」ということは、書い  
ている時間は決して継続しておらずとぎれとぎれになっているわけであるが、それが否定の返  
事にはなっておらず、むしろ肯定の返事になっている点に注意したい。



### 3. 複合事象としての進行

#### 3.1. 進行相のプロファイル

以上のような言語現象を解釈するに当たり、“在”の表す進行相が事態をどのように捉えているかについて、本稿の立場を述べる。

“在”の表す進行相は、時間軸上で本来は始まりと終わりのある有界の事象を、内部の視点から見てその進行を無界なものとして表現したものであると考える。Xiao,R.& McEnery, T.2004:214 が、“在”は状況の内側からのその内部構造を指し示す<sup>8)</sup>と述べているのも同じことを指す。次の図で考えてみよう<sup>9)</sup>。

図1 “孩子在哭(,你快去抱抱。)”

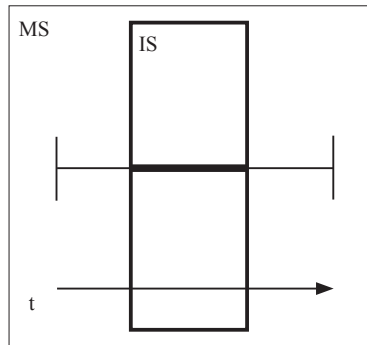


図1は、“孩子在哭,你快去抱抱。”(子供が泣いているから、早く行って抱っこしてあげて。)という例の“孩子在哭”の部分を表した図である。外側の細線枠は、プロフィール<sup>10)</sup>の背景的要素として必要なコンテキストであるスコープ(scope)のうち、話者が事象を概念化する際の背景すべてである最大スコープ(maximal scope)を、内側の太線枠はプロフィールを特徴づけるために際立った部分の直接スコープ(immediate scope)を、矢印は時間を表す。中央に左右に引かれた直線は、時間を介して展開する動詞が表す事象を表す。“哭”(泣く)という動作は、現実には泣き始める段階と泣き止む段階がある有界の動作である。“在”により、発話時のある程度の時間幅における子供が泣いている継続状態がプロフィールされ(太線の部分)ている。プロフィールされた泣いている状態は、特にいつからいつまでという境界線が意識されない“imperfective”(未完了)であるもの、換言すれば Xiao,R.& McEnery, T.2004:214 の言う“non-holisticity”(非全体性)を持つものとして把握される。そして、動作の継続部分がプロフィールされ、子供がいつ泣き始めいつ泣き止んだかという部分は、背景化される。

8) “The progressive *zai* makes reference to the internal structure of a situation and presents the situation from within.”

9) 以下、図の表す概念の説明については、Langacker,R.W.2008:62-65,155-156を参照。特に進行相を表す図については、同書65頁の図3.4、156頁の図5.9を参照。用語の日本語訳は、山梨監訳2011に従った。

10) ある認知領域の中で際立ちが大きく前景化された部分。

図2 “整整一个晚上，她都在哭。”

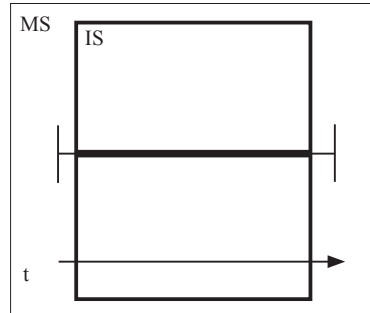


図2は“整整一个晚上，她都在哭。”(まるまる一晚、彼女は泣いていた。)を表した図である。“整整一个晚上”のような長い時間を表す語と共起した結果、プロファイルされた泣くという動作の継続部分が、図1よりも相対的に時間が長いものとなっている<sup>11)</sup>。

図3 “几年来他一直在研究这个问题。”

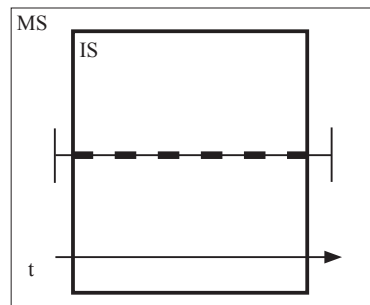


図3は“几年来他一直在研究这个问题。”(数年来彼はずっとこの問題を研究している。)を表す図である。“几年来”(数年来)“一直”(ずっと)という比較的長い時間がプロファイルされているが、“研究”(研究する)という行為は、文献を読んだり執筆したりする合間には研究を離れて食事をしたり睡眠をとったりして、とぎれとぎれに行われているのが現実の状況である。図の点線は、“在”によってその部分がプロファイルされつつも、その動作は実際には実行されたり(太線の部分)、されなかったり(太線のない部分)ということを繰り返していることを表す。潘文娱 1980:47が早い段階で、“在”の表す持続性は散漫な(“松散”)もので普段の動作を表す場合もあるとして以下のような例を挙げるが、これも本稿の立場からすれば同様の分析が可能である。

(34) 他的嘴巴很会讲，随时随地都在做宣传。

(彼の口は話が上手くて、いつでもどこでも宣伝をしている。)

11) 今仁 1990:771によると、「彼は、今日は一日中(ずっと)、本を読んでいた。」では、たとえ「ずっと」や「一日中」といった修飾語を伴っていても、現実には合間に本を読んでいない時間も存在していた理解で用いられやすいという。文字通りずっとその動作が継続されたのか、現実には合間にインターバルが存在していたのかは、表現された行為ごとに、我々の日常生活における百科事典的知識に基づき判断される可能性はあるであろう。

(35) 可千万要保重啊，我看见你天天在开会，天天在小本本上写笔记。

(くれぐれもお大事になさってください。見たところ、あなたは毎日会議をして、毎日ノートにメモをとっていますね。)

### 3.2. 動作の均質性

図3の状況は、王媛 2012b の“複数化事件”(複数化事象)であると解釈することも可能である。王媛 2012b によると、“在”は複数回発生する事象の重複を表す場合があり、以下の2種類がある。

[1] “片段重复”(phase repetition/部分重複)

(36) 外面有人在不停地敲门。(外でずっとドアをノックしている人がいる。)

(37) 他在不停地朝我眨眼。(彼はひっきりなしに私に向かって目配せしている。)

[2] “事态重复”(event repetition/事象重複)

(38) 几天来，他在不断地找我麻烦。(数日間、彼は絶えず私に面倒をかけている。)

(39) 这几天他在不断地登上长城。(ここ数日彼は絶えず長城に登っている。)

[1] “片段重复”は、動詞が“敲门”(ドアをノックする)“眨眼”(まばたきをする)“咳嗽”(咳をする)など、そもそもその動作が通常は繰り返し行われるものである。本稿がより着目するのは[2] “事态重复”である。王媛 2012b:442 では、(39)の例について、繰り返し発生する「長城に登る」という事象は時間の上では明らかに間隔が空いており、明らかな時間間隔を挟んだ多くの独立した事象の頻繁な発生を表していると述べ、図4で説明している。

図4 “这几天他在不断地登上长城。”(王媛2012b:442)

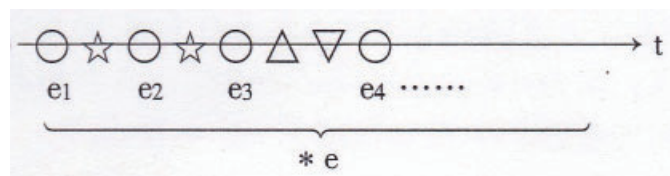


図4の中のe1やe2などは繰り返される「長城に登る」という事象を表す。繰り返される事象の間には時間の間隔があるので、現実にはその間に他の様々な事象が起きていることを星や三角の形が表す。全体を括るeに非文のマーク“\*”が付されているのは、このような離散的な様々な事象は全体として均質な事象を構成することができず、従って“着”で表すことができないという事実を説明している。

(40) \* 这几天他在不断地登上着长城。

さらに王媛 2012a:239-240によると、例えば「小包を送る」という事象は、「小包を梱包する」「伝票に記入する」「重さを量る」「代金を払う」などの複数の異なる“子事件”(子事象)から

構成されており均質性のない事象なので、(41)のように“在”しか使えず“着”を用いることはできないという。また、(42)では、“在”を用いた a. の方は、マントーを蒸すに当たっての準備段階からの様々な動作を含めることが可能だが、“着”を用いた b. の方は、例えば鍋の中に入れて加熱して蒸している段階しか指せないという。つまり、“着”の方は均質性のある事象しか指せない一方、“在”の方は、均質性を欠き途中で他の動作や時間的空白がある事象においても使えるということである<sup>12)</sup>。

- (41) a. 小张在寄包裹。(張さんは小包を送っている。)  
b. \* 小张在邮局寄着包裹。
- (42) a. 妈妈在蒸馒头呢。(お母さんはマントーを蒸している。)  
b. 妈妈蒸着馒头呢。(お母さんはマントーを蒸している。)

この「均質性」(“均质性”)という概念は、形式意味論で言うところの「部分期間特性」(subinterval property)に相当する。部分期間特性とは、ある述語動詞の持続している時間内のどの時間をとっても、その動詞が表す同一の状態や活動が成立しているという特性のことである。Vlach1981:280は、(少なくともそこで取り上げている英語の)進行相というアスペクトは部分期間特性を欠いているのであると指摘している。

中国語において進行相を表す副詞“在”も、均質性を欠く事象を、1つの大きな継続した事象として統合する機能を有していると考えられることができる。以下では、“在”のこのような機能を、認知言語学の視点から分析する。

### 3.3. 統合的スキーマと離散的スキーマ

ここではまず、外部世界の成員とその認知に関わるイメージスキーマとして、統合的スキーマと離散的スキーマを確認する。山梨2000:76-78によると、私たちが外部世界の成員を認知する場合、ある対象を、それを構成する成員からなる複数の存在として認知する場合と、統合された単一の存在として認知する場合があるという。

- (43) a. あのチームは球団名が変わった。  
b. あのチームは動きがばらばらだ。
- (44) a. 鈴木さんの家族はバランスがいい。  
b. 鈴木さんの家族は勝手に行動している。
- (45) a. あの会員クラブは人気がある。  
b. あの会員クラブは出入りが激しい。
- (46) a. There was a large audience in the theater. (劇場には多数の観客がいた。)  
b. The audience were deeply impressed. (観客は非常に感銘を受けた。)

12) 陈前瑞 2003(2017:51-52)の分析では、“聚焦度”(focality)が“着”の方が高く、“在”の方が低いということになる。

- (47) a. The committee has made its decision. (委員会は決定をした。)  
 b. The committee returned to their seats. (委員たちは座席に戻った。)
- (48) a. He has a large family. (彼の家族は大家族だ。)  
 b. His family are early risers. (彼の家族は早起きだ。)

それぞれ a が統合された単一の対象として認知した表現で、b が成員からなる複数の存在として認知している例である。a のように統合された単一の対象として前景化されるスキーマを「統合的スキーマ」、一方で b のように個々の成員が前景化されるスキーマを「離散的スキーマ」と呼ぶ。

図5 統合的スキーマと離散的スキーマ

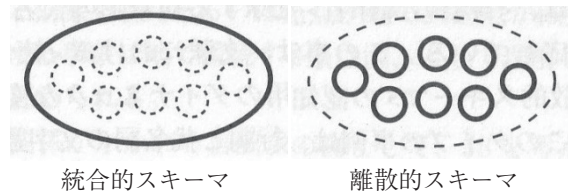


図5は(43)から(48)のような空間上のモノのイメージスキーマである。本稿で問題となっているのは動作であるから時間軸上のコトを指すが、時間軸上のコトという目に見えない抽象的な概念を把握する際に、目に見える空間上のモノの捉え方を拡張することで、理解される。このような、空間から時間への概念の拡張は、言語の様々な単位で確認することができる。以下全て、aが空間の例であり、bが時間の例である。(49)が動詞句“抓紧”、(50)が形容詞“长”、(51)が量詞“节”、(52)が介詞“从”、(53)が方向補語“到”の例である。

- (49) a. 抓紧绳子 (ロープをしっかりとつかむ) [空間]  
 b. 抓紧时间 (時間を無駄にしない) [時間]
- (50) a. 大象的鼻子很长 (象の鼻は長い) [空間]  
 b. 聊天聊得太长了 (雑談の時間が長すぎる) [時間]
- (51) a. 一节车厢 (1つの車両) [空間]  
 b. 一节课 (1コマの授業) [時間]
- (52) a. 从北京到上海 (北京から上海まで) [空間]  
 b. 从九点到十二点 (9時から12時まで) [時間]
- (53) a. 中学毕业后他又回到家乡来了  
 (中学高校を卒業してから後、彼はまた郷里に戻って来た) [空間]  
 b. 大风刮到下午两点才停止 (強風が午後2時まで吹いてやっと止んだ) [時間]

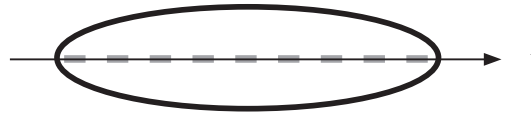
時間上でとぎれとぎれに行われ、時間の間隔のある動作は、離散的なスキーマで把握することが可能である。その場合には、個々の動作が前景化され、全体が一体化した動作の継続とは把握されない。

図6 時間上の離散的スキーマ



一方、“在”を用いた表現は統合的スキーマで事態を把握していると考えられる。その場合は、とぎれとぎれの個々の動作は背景化され、それらが大きな1つの継続する動作の連続体として把握されているのである。

図7 時間上の統合的スキーマ



欧阳晓芳 2020:60-62 は、(54)のような瞬間の事象が繰り返し発生することを“在”で表す場合には事象全体の持続を強調しており、実際には繰り返しの発生の合間にある空白の時間は不問に付しているが、(55)のように“屡次”（何度も、しばしば），“再三”（再三、繰り返し），“偶尔”（たまに、ときたま），“重新”（再び、もう一度）のような副詞を用いると、事象と事象の合間の空白の時間が長くなり、その結果“在”を用いて統合的スキーマで事態を捉えることができなくなると指摘している。

(54) 停车场的汽车不断地在爆炸。/总是在反复跌倒。

(駐車場の自動車が絶えず爆発している。/いつも繰り返し躓いて転んでいる。)

(55)\* 我屡次在想 / \*我再三在想 / \*我偶尔在想 / \*我重新在想。

(私はたびたび考えている / 私は再三考えている / 私はたまに考えている / 私はもう一度考えている。)

以上の現象は、イメージスキーマ変換の観点から説明できる。山梨 2000:166-167 によると、くしゃみは時間的に間隔のある繰り返される動作であるものの、「授業中ずっと」という継続される動作を修飾する語句を用いることができる。

(56) a. あの学生は授業中ずっとくしゃみをしていた。

b. あの学生は授業中ずっと居眠りをしていた。

これは、くしゃみのような客観的にはとぎれとぎれの動作も、図8の(a)のような断続的な存在から(b)のような連続体へのイメージスキーマの変換が起こり、主観的には連続体として把握することが可能となるからであると述べる。

図8 イメージスキーマ変換



このイメージスキーマ変換は近接性の原理 (principle of proximity)<sup>13)</sup>、すなわち近接した2つの対象が1つのまとまった対象として知覚される傾向に動機づけられている。よって、“屢次”“再三”“偶尔”“重新”等の副詞を用いると、繰り返される動作の間が空きすぎており、継続した事象である時間軸上の連続体への変換ができないわけである。

図9 イメージスキーマ変換の可否



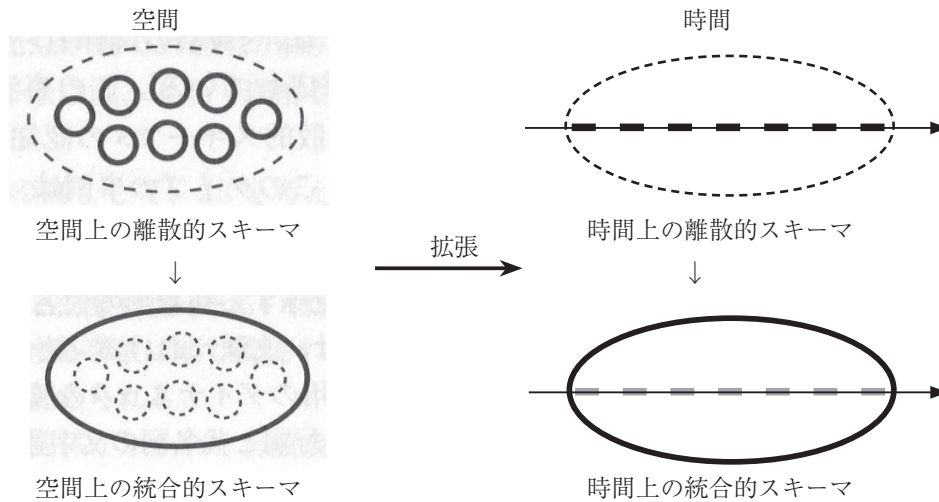
### 3.4 “在”の統合化機能

ここまでの議論から、“在”の機能をまとめてみる。“几年来他一直在研究这个问题。”(数年来彼はずっとこの問題を研究している。)という文では、「数年来ずっと」という長期間の間に、現実には研究を進める合間に日常生活を行っているので、研究するという動作はずっと連続しているのではなく、本来は離散的スキーマで捉えるべきとぎれとぎれの事象である。ところがそのような事象でも副詞“在”を用いることによって、それがあたかも連続した動作であるかのように統合的スキーマで把握されており、そこには離散的スキーマから統合的スキーマへのイメージスキーマ変換が起きているわけである<sup>14)</sup>。そして、時間上の目に見えない行為という対象をそのようなスキーマで把握することを可能にしているのは、空間上の対象を捉えるスキーマからの拡張であり、これは多くの言語現象に認められる空間から時間への拡張にほかならない。両イメージスキーマと、空間から時間への拡張の関係を表したのが、図10である。

13) 山梨 2000:175 の注 (22) を参照。

14) Xiao, R. & McEnery, T. 2004:213 は、英語の進行形が習慣相 (habitual)、反復相 (iterative) などの英語特有の用法を持つのに対し、中国語の“在”は、英語の進行相の正統な用法、すなわち進行中の状況 (ongoing situations) を示す用法しかないと述べているが、本稿の議論からわかるように、その主張は必ずしも正しいとは言えない。

図10 空間から時間への拡張



時間上で統合的スキーマを使えるのは、“在”ではなく、“一直”のような長時間を表す語句の働きが要因になっているのではないと思われるかもしれないが、必ずしもそうではない。

(57)他现在在写信，你别打扰他。(彼は今手紙を書いているから、彼の邪魔をしないで。)

(58)这件事有好处，也有不好处。好处是达到神圣的手续甚为简便，坏处是写什么都带点“圣”气，就丧失了平常心。我现在在写字，写什么才能不亵渎我神圣的笔，真是个艰巨的问题。

(これには良い所も悪い所もある。良い所は、神聖なレベルに到達する手続きが至極簡単であることであり、悪い所は、何を書くにも少し崇高な文面にする必要があり、平常心を失ってしまうことである。私は今書きものをしているが、何を書けば神聖なペンを冒瀆しないですむのかが、実に困難な問題である。)

いずれも“现在在写”（現在書いている）という表現が用いられている。“现在”（現在）という語は、(57)のように文字どおり発話時の動作の進行を表すこともあるが、(58)のように長時間として捉える場合もある。この場合には統合的スキーマで事態を把握しており、その事態把握を可能としているのは副詞“在”の機能であると言えるだろう。

おわりに

本稿では専ら“在”を用いた進行相における現象を論じたが、今仁 1990:769-771によると、日本語の時間を表す成分を用いた表現でも、同様の問題は進行相に限らず存在する。

(59)a. 彼は、2分間、息を止めた。

b. そのお湯は、30分ほど、沸騰していた。



(60)a. 専務は、2時間ほど会議をした。

b. 30分ほど、ジョンはコーヒーを飲んでいて。

(59a)は「2分間」に息を止めていないインターバルの存在は意図されていない。「2分間」文字通りずっと息を止めていたわけである。(59b)も「30分」の間に沸騰していない時間は想定していない。一方(60a)は、途中で休憩を入れてもこの文は真であるし、(60b)は、30分間ずっとごくごく飲み続けたのではなく、合間に飲んでいない時間があるというのが常識的な理解である。今仁1990は(59)を「属性的用法」、(60)を「指示的用法」と呼んで議論している。「テイル形」でなくても両者の区別があるということは、この問題は進行相に限らず、時間表現一般に関わる現象かもしれない。中国語ではどうであるか、稿を改めて論じたい。

#### 参考文献

- 陈前瑞 (2003) 「汉语内部视点体的聚焦度与主观性」『世界汉语教学』4。(陈前瑞2017『语法化与汉语时体研究』学林出版社,49-63。)
- 陈月明 (2000) 「时间副词“在”与“着1”」陆俭明主编『面临新世纪挑战的现代汉语语法研究』山东教育出版社, 536-547。
- 龚千炎 (1995) 『汉语的时相时制时态』商务印书馆。
- 梁德惠 (2012) 『汉语有标记进行体研究』现代教育出版社。
- 李晓琪等编 (1997) 『汉语常用词用法词典』北京大学出版社。
- 刘月华、潘文娑、故韡 (2019) 『实用现代汉语语法 (第三版)』商务印书馆。
- 卢福波编著 (2000) 『对外汉语常用词语对比例释』北京语言文化大学出版社。
- 吕文华 (2014) 『对外汉语教学语法讲义』北京大学出版社。
- 欧阳晓芳 (2020) 「“正”“在”“着”的功能再分析」『语言研究』3,59-68。
- 潘文娑 (1980) 「谈谈“正”“在”和“正在”」『语言教学与研究』1,41-50。
- 三宅登之 (2007) 「表示动态的“V着”的实际使用情况考察」张黎、古川裕、任鹰、下地早智子主编『日本现代汉语语法研究论文选』北京语言大学出版社,64-82。
- 石毓智 (2006) 「论汉语的进行体范畴」『汉语学习』3,14-24。
- 王媛 (2012a) 「谓词性结构的事件性和现代汉语进行体标记的语义分析」『当代语言学』3,234-245。
- 王媛 (2012b) 「复数化事件及其进行体」『世界汉语教学』4,435-448。
- 今仁生美 (1990) 「事態の2つの用法とオーバーラップ」崎山理・佐藤昭裕編『アジアの諸言語と一般言語学』三省堂,768-784。
- 山梨正明 (2000) 『認知言語学原理』くろしお出版。
- Langacker, R. W. (2008). *Cognitive Grammar: A Basic Introduction*. Oxford University Press.  
(山梨正明監訳 (2011) 『認知文法論序説』研究社。)
- Teng, Shou-hsin. (1979). Progressive Aspect in Chinese. *Computational Analyses of Asian & African Languages*. 11,1-12.
- Vlach, F. (1981). The Semantics of the Progressive. in Tedeschi, P. & A. Zaenen, (eds.), *Syntax and Semantics 14: Tense and Aspect*. Academic Press. 271-292.
- Xiao, R. and McEnery, T. (2004). *Aspect in Mandarin Chinese: A Corpus-based Study*. John Benjamins.